



平成 27 年 2 月 26 日

各 位

会 社 名 ティーライフ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 植田 伸司
(東証第二部 コード番号: 3172)
問 合 せ 先 専務取締役 鈴木 守
(TEL. 0547-46-3459)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 2 月 26 日開催の取締役会において、下記のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年 9 月 5 日の平成 26 年 7 月期決算発表時に開示しました平成 27 年 7 月期（平成 26 年 8 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日）の中間期および通期の業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当中間期の連結業績予想数値の修正（平成 26 年 8 月 1 日～平成 27 年 1 月 31 日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	3,619	220	225	134	31.69
今回修正予想 (B)	3,396	104	111	62	14.77
増減額 (B - A)	△223	△116	△114	△71	—
増減率 (%)	△6.2	△52.8	△50.6	△53.4	—
(ご参考) 前中間期実績	3,008	185	195	116	27.35

2. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 26 年 8 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	7,190	564	575	343	80.81
今回修正予想 (B)	6,886	404	430	235	55.49
増減額 (B - A)	△303	△159	△144	△107	—
増減率 (%)	△4.2	△28.3	△25.1	△31.3	—
(ご参考) 前期実績	6,012	386	385	224	52.88

3. 修正の理由

当中間期の連結業績予想につきましては、売上高は、小売事業においてコールセンターを活用した定期会員の加入促進が進んだことに加え、卸売事業において株式会社ダイカイの子会社化により生活雑貨の品揃えが拡大したことにより、増収となる見込みであるものの、小売事業において消費税引き上げの影響を受け、成長スピードが予想よりも遅れたことに加え、卸売事業においてキッチン雑貨が低調に推移したことにより、前回予想を下回る見込みであります。

また、利益面につきましても、前述の売上高の計画が未達となること、小口化に伴う荷造運賃の増加などにより、前回予想を下回る見込みであります。

通期の連結業績予想につきましては、小売事業においては、安定した売上に貢献する定期会員が順調に増加していることより、下半期は当初予想どおりの売上高および利益を見込んでおりますが、卸売事業においてキッチン雑貨の低迷に加え、円安に伴う売上原価の上昇による利益の圧迫が予想されることから、連結の売上高および各利益は、前回予想を下回る見込みであります。

なお、配当予想の修正はございません。

(注意事項)

当業績予想値は、現時点で得られた情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上